

横浜市立 城郷中学校 令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針 (令和 4 年度修正)

学校 教育 目標	「志す・翔く・拓く」					
	知：自らの課題に根気強く向き合い、学び続ける力を育みます。 徳：共感、共生の大切さと楽しさに触れ、豊かな感性を育みます。 体：生命や心身の健康を尊重し、たくましく生きる力を育みます。 公：相互に協働し、豊かな人間性と社会性を高める力を育みます。 開：多様性を尊重し、新たな価値をすすんで創造する力を育みます。					
学校 概要	創立 76 周年	学校長 佐久間 大	副校長 大澤 和弘	3 学期制	一般学級：17	個別支援学級：3
	児童生徒数：625 人	主な関係校：小机小学校・城郷小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	<社会で活用できる知識・技能> <未知の状況に対応できる問題発見と解決能力> <多様性を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力>	城郷中学校 小机小学校 城郷小学校

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の組織力の向上を図るとともに、地域、小学校との連携・協同を推進することで、活力のある学校を目指します。</li> <li>・学校運営協議会への理解を深め、協議会との連携を積極的に取り組むことで、より確かな組織的な学校経営を目指します。</li> <li>・特別支援教育の重要性を意識し、生徒一人ひとりを大切にしたい指導を目指します。</li> <li>・いじめの早期発見やトラブル防止のために、生徒の活動場面等を丁寧に観察し、個に応じた指導を目指します。</li> <li>・警察等関係機関、地域防災拠点等との積極的な交流を一層推進し、生徒の健全育成、防災体制作りを目指します。</li> </ul>
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①授業内容や方法を再構築し、主体的に学習する態度、GIGA端末を活用するなどした課題解決する能力を養う。 ②小中連携したブロック授業研究を実施し、子どもが主体的に学習に取り組む授業を目指す。
担当 学習指導部	③「学習相談」を効果的に活用し、学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指す。
徳 人権教育	①全教育活動において自他の生命や体、他を思いやり、互いに認め合う心を育成する。 ②道徳教育を充実させ、一人ひとりの個性を認めあえる学校づくりを行う。
担当 学習指導部	③子ども会議のテーマを基に学級討議等を深め、生徒間での課題解決能力の育成に努める。
体 健康・安全教育	①運動をしたり、親しんだりするために必要な資質・能力の向上を図るとともに、健康の保持増進の実践力の育成を図る。 ②食を通じた健康な心身の育成の重要性を理解させ、自ら健康な食生活を実践するための資質・能力を育成する。
担当 保健安全指導部	③安全で生活しやすい環境を自らつくろうとする態度と能力を育成する。
公 開 ESDの推進	①SDGsを推進するため17の項目について関心をもたせる。 ②各教学習内容にSDGsの目標との関連させ、持続的な学びの推進に努める。
担当 学習指導部・特活指導部・教務部	③様々な生徒活動でSDGsと関連させ、身近な課題解決に向けた学習を計画、実践するとともに、家庭や地域に発信する。
いじめへの対応	①学校教育目標のもと、誰もが安心して教育活動に参加し、自己肯定感を高め、いじめを許さない学校風土の確立に専心する。 ②教育相談・生活アンケート・YPアセスメントを実施し、生徒の状況把握に努め、変化を見逃さない体制づくりをする。
担当 いじめ防止対策委員会	③定期的な「いじめ防止対策委員会」を開催し、積極的にいじめを認知し、実態把握、分析、対応に努める。
人材育成・組織運営 (働き方)	①計画的な授業力、生徒指導力など実践力養成に役立つ校内研修の実施により、教職員の指導力向上を目指す。 ②校務分掌の各部に若手、中堅、ベテランをバランスよく配置し、業務を効果的に遂行する。
担当 教務部・メンターチーム	③会議日等の調整、職ア活活用、部活動休養日設定及び外部指導者登録等、負担軽減し持続可能な業務の在り方を検討する。
地域連携 学校協働活動	①学校の取組を学校便り、HP等で広報する。 ②学校運営協議会(地域コーディネーター)協働でのキャリア教育を実施し、自分づくり教育の充実を図る。
担当 教務部	③地域町内会等へのボランティア参加、学習ボランティアによる学習支援事業を実施する。
生徒指導	①生徒理解及び生徒支援に努め、「生活のやくそく」に則した組織的な指導を行う。 ②登下校時の指導及び休み時間の声掛け等を積極的に取り組み、生徒一人ひとりに寄り添った組織的な取り組みをする。
担当 生徒指導部	③教職員間、スクールカウンセラー、SSWとの情報交換・共有の徹底を図る。
特別支援教育	①特別支援教育委員会の定期開催を実施し、個別の指導計画を基に支援を要する生徒の理解及び対応を深める。 ②特別支援教室(学習室)の改善に努め、生徒が安心して学習できる環境整備に努める。
担当 特別支援教育委員会	③GIGA端末を活用し、個に応じた学習支援を実施する。
担当	